

入善町議会だより

12月定例議会

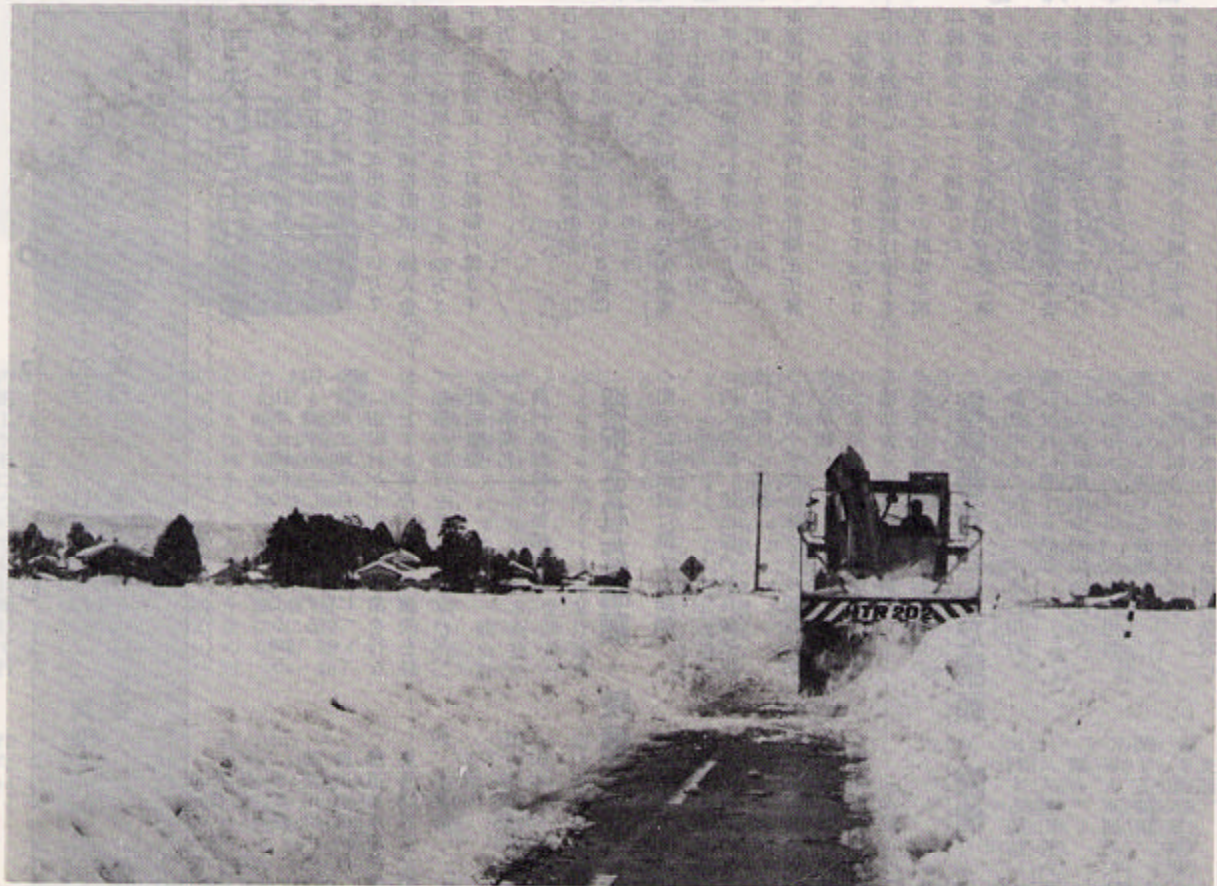
№. 51 号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会

富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100



力を発揮するロータリー除雪車（60年11月購入2千260万円）

豪雪お見舞い申し上げます

議員	副議長	議長	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
本多	西尾	大林	五十里	板川	松沢	白又	竹内	九里	早川	佐藤	佐藤	野坂	若島	池原	石川	本田	岡島	上野	上野
幸男	三郎	政雄	隆章	清治	孝衛	正司	杜太	郁子	誠一	学英	義孝	俊一	信行	与志	昭男	幸光	松次郎	幸一	幸一

（議席順）

第3回

入善町12月定例会

1千960万3千円追加補正し

予算総額77億3千27万7千円に!

あきらまし

12月定例会は10日から20日までの11日間にあたり開催され議案9件、請願7件、陳情6件を審査し請願2件、陳情2件を継続審査とした外、原案のとおり可決、採択した。

可決した主な議案

- ※60年度一般会計補正予算(第3号)
 - 今回の補正は町単独で実施する事業と国、県の補助事業費決定により繰入で国庫支出金2千47万7千円減となった額を町債、繰入金繰越金で補填するなど1千960万3千円追加補正し予算総額77億3千27万7千円とした。
 - 可不燃物収集運搬委託料
 - (収集回数每週2回から3回にしたことにより)490万円
 - 国宮かんばい関連道路整備事業
 - 下山地内 1千200万円
 - 平和の塔建設(寄附金による)
 - 野中地内 1千万円
 - ※国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
 - 医療費の増嵩により2千255万3千円を追加し、予算総額12億7千12万3千円とした。その財源を前年繰越金によって措置した。
 - ※簡易水道特別会計補正予算(第2号)
 - 野中簡易水道施設整備の配水管延長事業量の縮小などにより543万円減額し、予算総額8千410万円とした。
 - ※育英奨学資金特別会計補正予算(第1号)

採択された請願・陳情

- ◇町道塩福改良に関する請願 (中坪)
 - ◇西入善駅、道市線の改良舗装促進に関する請願
 - ◇上青小学校水泳プール新設に関する請願
 - ◇公衆浴場衛生設備改善に対する補助金交付について請願
 - ◇養豚経営維持資金の利子負担の軽減に関する請願
 - ◇新川むつみ園増築に関する陳情
 - ◇道路側溝の改良並びに側溝新設について陳情(入善6区)
 - ◇61年度農道整備舗装事業に関する陳情(野中土地改良区)
 - ◇道路側溝改修に関する陳情 (入善12区)
- ◇山本正勝氏のご厚志による200万円を奨学金として積立する。
 - ※新規土地改良事業計画について(市町村が土地改良事業を行なおうとする場合、議会の議決を経て知事の認可を受けなければならない)
 - 計画概要
 - 一、事業名
 - 農村基盤総合整備事業
 - 二、事業の施行地区
 - 舟見地区(農業振興地域内)
 - 三、事業量
 - 農業用排水施設整備1千100m
 - 農道整備900m
 - 農道集落道整備1千750m
 - 集落防災安全施設(消雪)2千500m
 - 四、事業費
 - 3億円
 - 五、事業期間
 - 61年165年度まで

継続審査とした請願・陳情

- ◇農業用水の河川「流水占用料」徴収反対に関する請願
 - (入善町農業協同組合ほか)
- ◇農業用水の河川「流水占用料」徴収反対に関する請願
 - (農民組合入善支部ほか)
- ◇農業用水から流水占用料徴収に反対する陳情
 - (入善町管内土地改良区連絡協議会)
 - ◇軍人軍属恩欠者の活動費助成に関する陳情
 - (軍人軍属恩欠者全国連盟入善支部)

議会日誌

10月31日	関電愛本発電所竣工式
11月5日	町民会館建設特別委員会
11月11日	郡議長会臨時總會
11月12日	群馬県吉岡村視察来庁 新屋土地改良区土地総起 工式
11月13日	奨学生選考委員会 臨時議會
11月15日	議員全員協議會
11月16日	県商工連合会懇談會 建設省宇奈月ダム安全祈 願祭
11月17日	社会教育大会
11月20日	町民会館建設特別委員会
11月21日	黒部川水利対策特別委員 會
11月24日	コミュニティー公園完工式
11月25日	黒部川関係直轄事業陳情
11月28日	農林水産省等陳情
11月29日	豪雪地帯議會議長会全国 大会
11月29日	建設省等陳情
11月30日	町村議會議長会全国大会 県東部議長會
12月3日	町民会館建設特別委員会



町

政

行政に取り組む

基本姿勢を問う

一般質問

選挙公約の 実現に向けて努力を

自民党代表質問
広瀬義孝 議員(自民)

問

任期満了による入善町長並びに町議会議員の選挙は無競争となったが、今後の執行姿勢に町民各位は大きく注目しその成果を期待している。柚木町長にあつては二期目であるが自民党としても協力すべきところは協力したいが、安易な妥協は許されない。二期目に臨んでの町長の選挙公約では、
一、工場誘致に取り組むとされるが、急激な円高に依つて繊維、電気機械器具等が苦しいと云われる。誘致も大切だが東洋紡、新和、日本電気など影響すると思つので、行政として何をなすべきか考える必要はないか。
二、都市計画道路を整備し商店の活性化を図るとするが、住民のコンセンサスと国、県等上局の認可申請が大切であり町長が先頭に立つてこそ成し上げられるのでは。
三、連続的に教育施設を整備するとされるが、数多くある木造校舎を何年で改築するのか。また財源的に大丈夫か。
四、町の臨調と云われた行財政審議会の提言を受けての対応とその

効果は
五、60年1月に自治省から通知されている行政改革にどの様に対応するのか。
六、議会との両輪に対する考えは、町長
無競争当選させて頂き感謝する。公約の実現に向けて精一杯頑張りたい。公約の指摘事項として
一、工場誘致は町財政基盤の確立



一般質問に耳を傾ける傍聴者

や雇用の拡大上大切な。円高によつて町内産業も影響することは否定出来ないが、町で応援出来る問題、相談に乗れる問題は積極的に対応したい。
二、中央通り線(駅前18号線)の整備は計画されてから30数年経過している。誰か行わねばならぬことであり国に陳情している。見通しとして62年、遅れども63年に着工出来ると考えており関係の皆さんに協力を要請しているところだが、幅員は16m、事業費18億円前後で期間10年を見込んでいる。
三、教育問題審議会では、野中、舟見を統合、入善、横山、柗山の3小学校を2校にすればとの答申が出ている。統合するにしても行政の押しつけではなく地域住民の共通理解のもとで取り組むたいが各校を改築するまでは12年位ようすると思つている。
五、行財政改革審議会の提言を受け先取りした形で行つており、審議会は当分作らない。
六、法律に定められた多くの議会側の権限を十分尊重し協調して行きたい。
財政課長

四、58年度補助金10件削減、廃止3件で140万円、59年度は3件削減、廃止7件で130万円、60年度には庁舎内電話料金の削減や契約電力を変更し月額8万円減少させるなど効果をあげている。
問 明年度の町財政は、国の影響を受けさらに厳しくなると思つが、

30日	20日	15日	14日	10日	7日	6日	1月	29日	27日	25日	"	24日	20日	19日	18日	17日	16日	13日	"	11日	"	10日	8日	7日	6日	5日	"	4日	"	"	"			
議会	国営かんばい事業促進協議会	商工会総会	成人式	金沢鉄道管理局陳情	大漁祈願祭	入善町新春を寿ぐ会	消防出初式	消防各分団年末警戒慰問	青木消防屯所落成式	議員全員協議会	第4回入善町議会臨時会(於東京)	北陸新幹線建設促進同盟	議会定例会(最終日)	野中簡易水道竣工式	文化ホール愛称選定委員会	産業建設委員会	文教厚生委員会	総務委員会	議会定例会(2日目)	P.T.A.教育懇談会	議会運営委員会	議員全員協議会	12月定例議会(初日)	青年議会	町民会館建設特別委員会	総務委員協議会	石川県根上町視察来庁	来町により陳情	建設省海岸課長海岸視察	除雪対策協議会	除雪対策協議会	除雪対策協議会	除雪対策協議会	国保運営委員会

一、予算編成に臨む基本方針と財政見通しは。
 二、保育所運営費の国庫補助金は%から%補助となるが、減額分を保護者負担とするのか。
 三、59年の12月と60年の12月に説明を受けた61年度の総合計画に於ける予算規模は60億円から53億5千万円と減少している。余りにも計画は予算でないか。
 四、61年度より漁村集落環境整備事業を計画されている。初年度に拘らず7千万円事業としているが、補助金確保に自信はあるのか。
 五、町政懇談会なりで事情を承知のことと思うが、60年度で1億3千万円計上した町単道路整備事業は61年度計画では6千万円である。これで町民ニーズに応えることが出来るのか。
 六、自民党として61年度町政に対し、生活環境整備、義務教育施設の充実、無雪町づくりの推進、都市計画街路の整備など14項目重点要望しているが、その対応は、町長

三、国の補助金カットという動きを踏まえ、国庫支出金5億7千万円を4億2千万円と見込むなど厳しい財政事情によって事業の見直しを迫られた。
 四、漁村集落環境整備事業は強力

二期目を迎えての基本姿勢は、

問 柚木町長の第一期は激しい選挙戦のもと多くの支持者により選任され清新な決意のもとに庁舎のオープン化、他市町村に先がけて情報公開制度の導入、各地区においてはコミュニティセンターの設立、特に大型プロジェクトとして町民会館の建設など次々と大胆な政策を打ち出した努力には敬意を表する。この度、我々議員同様選挙は無競争で選任された意義を勘案されて、より大きな抱負を持っておられると思うが、二期目を迎えてその基本姿勢とするものはなにか。また最近の政治情勢として、教育改革、軍事費の増大によるGNP比1%枠の徹底問題など若干杞憂を感じるが町長の見解は、町長

に運動展開しており、現時点では採択になるものと確信している。
 五、限られた一般財源で事業費を拡大するには補助事業と抱き合わせの形で努力したい。

問 政の中にもち込まないという考えで無所属、不偏不党の立場を貫いていきたい。政治信条として町民の全てがスポーツや文化に親しみ参加しやすい環境づくり、あるいは老人の方々へ生きがいある福祉行政、青年・婦人層の声が町政に反映するよう努力したい。特に審議会などには青年・婦人の参加に配慮して行きたい。なお政府の来年度予算案が内示されたが特に国民総生産額の1%枠を守る、守らないとの問題は国会で論議されている。国を防衛することは大切なことではあるが、もっと芸術、文化的な活動について予算の配分がなされるべきと考える。

問 60年度の主な投資的事業を見ると町民会館建設あるいは飯野小学校、産業展示館、働く婦人の家などで31億6千万円余となり12月補正で一般会計は77億3千万円余となっている。反面歳入面では危機

問 60年度の子算編成は国の補助負担率の一割引き下げや財源対策の減額など行われ大変厳しかった。現段階において一般会計の収入が42億7千万円、率にして54%である。町税は20億6千万円歳入に見ているがあと6千万円位の増収が見込まれる。また地方交付税は400万円の減額となったが特別交付税は前年並と期待している。また、国、県補助金については大幅な増減はないと見通しを立てている。

問 債務負担行為を含めての地方債公債費比率が61年度41%、62年度43%、63年度44%と推移するが、健全財政の堅持上憂慮すべき事態と言わざるを得ないのでその対処方法を、町長

問 この度配布された61年度から63年度までの新総合計画の実施計画を見ると、入善小学校の建設計画が当初の62年より一年遅れ63年よりとなっている。特に入善小学校講堂は入学、卒業式に全生徒が収容されなく大変困っている。建設計

問 入善小学校は全生徒が一堂に会して式典が出来ないことや、運動場が狭いため競技に支障をきたしている。町としても決して放置している訳でなく、58年には現校舎東側に58㎡の用地買収、60年度で隣接地1千854㎡の用地を購入するため予算計上している。飯野小学校は61年度に体育館の建設をもって事業が終了するが、その後どの学校から着手していくか方向づけする必要もあるが教育委員会で入善小学校からという意見が強い。61・62年度に建設のための調



オープンシステム(上青小学校)

査費を計上し63年から3ヶ年計画で施工に入りたいと考えている。
教育長
 事業費は17億円と試算しているが飯野小より生徒数が多いので飯野より20%位面積増になるだろう。

保育料保護者負担を軽減せよ!

九里 郁子 議員(共産)

問
 一、中曾根内閣は軍事費を拡大し臨調行革の名のもとに福祉、社会保障、労働条件といった諸制度を次々と破壊している。特に保育所の国負担率の引き下げ影響は70万円にもなるが、自民党代表答弁で保護者負担割合を50%以下に堅持したいとのことであったが再度確認したい。
 二、国庫支出金の削減の恒久化とさらに拡大という政府の方針に対して町長の所見は。
 三、政府の行革大綱によれば、議会選出の監査委員の数を減じて行くとしているが、政府のやり方に対し町長の所見は。
町長
 一、保育所の児童措置費の負担割合は従来の原則を保持したい。
 二、補助金削減はいろんな曲折もあると思うが反対である。
 三、議会選出の監査委員は、議決した主旨での行政チェックであり制度化には反対だ。

オープンスペースは2教室を一つに、あるいは1教室を半分に出来るなど自由に間仕切り出来る。しかし現状では開校間もないため十分使いきっているとはいえない。

問
 一、非核平和都市宣言を決議をした自治体は全国で80近くもあり、先の9月議会でも入善町でも宣言したらの私の質問に対し、町長は「基本的には賛成だが、選挙後の新しい町長で提案した方がよい」との答弁だったが。
 二、スパイ防止法の名でいわれる国家機密法は国会で継続審査になったが、地方議会でも反対決議するなど反対世論が高まっているが町長の考えは。
 三、政府の地方行革大綱に基づく民間有識者による審議会は設置しないと思われるが、間違いないか。
町長
 一、議会とも十分相談したい。
 二、スパイ防止法は現在の法令の十分なところを整備することで十分と考えるが、これは国会の問題だ。
 三、審議会は当分は必要ないと考える。

(質問者：手塚明彦) 町長小川山



保育風景(青木保育所)

一、厚生省の退職者医療保険への移行人員の見込みで、全国の国保会計は2千80億円の財政不足が生じた。町の来年見通しと対策は。
 二、日帰り人間ドック事業を開催しているが、全町民を対象としており、国保から切り離すなり、また一般会計から見合う金額1千90万円を繰り入れすべきだ。
 三、国保加入者の受診率が伸びていないのに入院者が増え財政を圧迫している。要因と対策は。
町長
 一、国が負担増の処を措置するとの通知があったが、依然国の対応に流動的な要素が多いので、方針が確定した段階で税を検討したい。
 二、一般会計からの繰り出しは、

(質問者：手塚明彦) 町長小川山

国保の現状など見極めたいが、必要性は理解している。
 三、1ヶ月50万円以上要する医療費は多発性脳梗塞、高血圧症、脳動脈硬化症などある。町は直接、医療機関の監督官庁ではないので、加入者の健康指導に努めて行きたい。
問
 一、日本電気の公害防止協定の取り組みの現状は。
 二、新和工業は構内で鉱さいを埋めているが、地下水に影響が心配される。
町長
 一、県条例あるいは法律で網がかけられており、町が屋上屋を重ねての公害防止協定には問題もある。

とと思うが、必要性について検討させている。
 二、私も県議会議員の時、県の公害防止課の職員に調査させたが、人体あるいは地下水に影響はないとのことであった。

問
 働く婦人の家は働く婦人の福祉向上のため、職業や家庭生活及び一般教養に関する相談、指導など行うことになっているので、設置目的に合った運営をすべきだ。
町長
 地区のナショナルセンター的な性格と補助主旨を十分生かした運営が出来よう地元とも相談したい。

構想の実現に向けて努力せよ!

佐藤 学 議員(自民)

問
 町長選挙は無競争で再選決定となった。町民の各位は今後の行政執行にとくとく期待を持っている。しかし計画は4年前に定めた「活力」とうるおいに満ちた文化の町入「善」の基本構想の実現にはほど遠い感じがする。特に町民ニーズが最も大きい道路整備など具体的にどの様に行なっていくのか。また国からの補助金などは大変厳しい中で町民会館など日白押しに箱物を建設されたが、維持費やその管

理方法をどのようにするのか。
町長
 構想の実現に向けて、まず「参加とふれあい」について地域活動の活性化のためコミュニティの形成やOA機器の導入を図りたい。「健康と生きがい」については、新屋や小摺戸保育所の改築、学校整備に努めることや町民会館を拠点に文化面に力を入れた。「快適でやすらぎ」について町単道路整備など財源の許す限り計上したいが柴垣邑町線、君島、栢山寺線ある



入善小学校 (昭和30年6月建設)



横山小学校 (昭和26年4月建設)



們山小学校 (昭和7年10月建設)

いは中央通り線の整備、雪に強い道路作りのため小型の除雪機械を地区へ貸与するなど力を入れて行きたい。「活力と魅力」については、水田利用再編対策事業や農業指導、漁港集落環境整備事業あるいは、舟見に湧出した温泉利用方法に力を注ぎたい。なお町民会館を含めての維持管理は公社を設立しての運営など検討させている。

問 政府は60年度国家公務員給与改定について、人事院勧告どおり平均5%1万4千302円引き上げるとを決定した。但し改定時期を3ヶ月遅らせて7月実施としているが、当町の実施時期、要する財源、新給与体系をどのようにされるのか。また町職員のラスパイレレス指数、33名を抱える臨時職員の対応

は、町長 勧告どおり4月1日に満って引き上げれば一番理想だが、自治者の強い行政指導があり出来ない。臨時職員は退職者とも関係があり定数に余裕があれば考えて行きたい。人助による財源は6千万円程度である。

問 新しい号給制は職務責任を給与に導入し再編するものである。一般職については現行の6等級制を8級制に切り替えたいと考えている。ラスパイレレスは81%となっている。

問 60年6月28日で屋木助役が任期満了により退任された。町長では新しい町長のもとで退任するのが賢明とされ、再任後の臨時会(10月

30日)の招集案件に助役の選任について告示していた筈だがその後提案はないが。

問 町長からの諮問により入善町教育問題審議会は57年に入善、横山・們山の3校を2校に統合するべきと答申された。しかし町長は入善地区町政懇談会では「入善小学校は単独校として改築したい」、また横山地区懇談会では「統合の方が望ましいが地元との共通理解がなければ進められない。地元でも考えて欲しい」、さらに横山下端人会の席上では「横山と們山小学校の統合が望ましい」ということで具体的な敷地問題等の提案をされたと聞く。いずれも公式の場で

問 最近、ニュービジネスベンチャー企業という言葉がマスコミに盛んに登場し脚光を浴びている。これは技術の革新、情報化の進展、経済のソフト化、国際化など産業構造が変化の中で社会のニーズに対応した新商品、新しいサービスを提供している。それ等は人材派遣業、宅配業、電話転送業、健康産業、警備保障、事務代行などがあげられる。世の中のニーズが新しい商売の誕生を促しているが、町としてもこれらに対応せずして時代についていけないと思うが。

町長 地方自治体に於いてどのように活用して行くか、そして町民のニーズに応えた政策を打ち出して行くかということをはきけて通ることは出来ないと考えるので、積極的に行政の中で取り組んでいかねばならないと考えている。

の発言であるが一貫性はない。今後3校の統合については慎重な対応をお願いしたい。

新しい発想のもとに 活力ある町政を

広瀬喜代志 議員(自民)

3校の実態を見極めさらに詰めねばならないが、入善小学校を単独でやることになれば們山、横山は残るが、財政の問題は二の次にして教育効果、通学距離の問題もあり地区の皆さんなりに討論をする場を作って頂ければありがたい。

問 いかなる理想も考えも財源がなくは、絵に描いた餅になる。この現実を町全体でとらえて対処しなければならぬが、民間活力を応用した産業情報センター構想を提案したい。それは財団法人として職員、企業人、町との縁故者などで構成し企業立地に関する情報収集、商工会との連携により融資の相談等を行える組織にし町の活力源となるものにすべきでないか。

町長 近年、あらゆる施策の領域に於いて民間の活力導入が活発化している。しかし地域の開発、振興について第三セクターは市場経済の上で成立するものでなければならぬ。ご提案について今後様々な観点から検討して行きたい。

問 60年度の超大型予算を見て61年



東京入善会での懇談風景

から63年度までの計画案は非常に佳しい。人件費、扶助費、公債費等の義務的経費が常時、歳出の30%を示し期待しうる投資的経費は61年5.1%、62年5.1%、63年5.1%となっている。さらに公債費の推移を見ると61年14%、62年13%、63年14%になるが、財政運用に自信があるか。

企画財政課長

町財政の執行が弾力的であるか、あるいは動脈硬化しているか判定すべき基準に公債比率がある。公債比率は指摘のとおりであるが、債務負担行為を含めた準公債費比率は61年14%、62年14%と増加してくる。一方、国からは補助金の割合カットあるいは事業の抑制など大変厳しくなっており、町の

般財源だけでは道路など住民の要望に応えることが出来ない。今後の事業については優先度、緊急度を踏まえ対応し後年の事業に対し財政力を蓄えて行きたい。

問

情報を入手するため、あるいは町民のコミュニケーションをより大切にすため、「入善町ふるさとデー」を提案したい。これには町民の参加を期待し我が町の外部からの支援や情報を入手すべきと

安定した農業経営に向けての対応は

白又正司議員(自民)

問

農業を取りまく環境は何をとっても大変厳しい。しかし米も今や食糧物資から商品に変わっている。農業技術に関することはもちろん流通情報など早急に入手し公開すべきでないか。

- 一、転作は一級国道、一級河川などでささぎられた場合には集団として認めないとされるが、そういうことはないか。
- 二、農業者年金制度が改正になったが、その内容は。
- 三、農地高度利用の仕組み等その内容は。
- 四、パソコンを利用しての経営改善、収量改善等が全国的に利用されるようになり富山県でも上市町

思う。

商工水産課長

町では、55年頃までは町の発展した様子を見て頂くため、益に故郷バスを運行していたが回を重ねるごとに参加者が減少して来たので廃止した。現状では故郷を理解して頂くため、東京入善会や中央官庁出身者の方々と交流を図っている。これからも町出身者の方々に町を理解して頂くための方策は考えていかねばならない。

砺波市、高岡市等に導入された。我が町でも導入する考えはないか。

- 五、経営安定、良質多収、労働コストダウンとして直播がいわれているが。
- 六、経営の安定を図るため良質多収米を収穫することも大切だが、その方法として深層施肥で行くのか側条施肥で行くのか。
- 七、倒伏しない稲としてS37号が開発され全国的に試作されているが。
- 八、農業就業者の高令化は進んでいるが、作業体系や機械施設の効率的な活用方法を検討する必要がある。

町長



麦の刈り取り

入善町としては農業を基幹産業としているが、農業政策の根幹を全て町が決定出来ない。農業技術あるいは経営に関する情報の入手については十分意をもち取り組みたい。

農政課長

- 一、集団転作の団地化要件は原則として3ヘクタールあるいは1ヘクタール集団が配分面積の%以上である。国道、県道、一・二級河川をまたいでならぬことになっているが、弾力的運用に努力して行きたい。
- 二、農業者年金は、農地の経営移譲によって60才から5年間、年間にして60万円支給される。60年6月の法改正により従前とおりの年

- 金水準であるが、年金負担額の引き上げもあり死亡一時金の緩和、厚生年金に加入していた人の退職後の加入の緩和などが図られた。
- 三、農用地高度利用事業は、優秀な後継者に土地を集積しながら、規模拡大し経営の安定化を図っている。その奨励措置として10アール当り6年未満の貸し手には1万円、10年未満については3万円交付している。
- 四、パソコン農業という言葉が最近使われているが、情報の集積、作物栽培を計画的、科学的に行うことは十分理解出来るがかなり高度の技術と施設が必要だ。しかし4市町で導入したと聞いているので検討してみたい。
- 五、直播は普通作並みの収量の期待、あるいは省力化出来るが雑草、水管理など技術的な問題も残っている。
- 六、多収技術については側条施肥による田植えがかなり効果が高いようだ。しかし既存の機械をどのように整理しコストダウンを図るかこれからの課題だ。
- 七、S37号については技術短大で開発され絶対倒伏しないといわれている。試作前に基本的な技術を理解する必要もある。
- 八、労働対策については高令化、婦女子化が進んでいる中で、集落ぐるみ、地区ぐるみの取り組みの必要やあるいは中核農家を中心とした仲間、組織づくりによって対応したい。

町民が何を行政に期待しているか

本多 幸 男 議員(社会)

町長は4年間の実績を土台に今回、無競争という最も責任の重い形で当選されたが、過去4年間の手応えや、町民の皆さんが今、町政に対し何を期待していると思うか。

一、町長は「自民党公認の町長でないので交付金や補助金は少ないのではないか」という行政手腕論が町民の一部にある。そのようなことがあるのか。

二、町長はかねがね当局と議会は、車の両輪と言っておられるが、しかし、例を上げると町のシンボルになろうとする町民会館建設について細部でギクシャクするという現象がある。どこにその原因があると思われるか。

三、今、県議会の方で東砺波郡、下新川郡の定数を削減して黒部、富山を増やすということが論議されている。東砺波郡、黒部市はそれぞれ陳情しているようだ。下新川郡において単に人口だけで考えるのではなく、地域性を考えて現在の但書方式を継続するよう町として働きかけをしてはどうか。

四、新聞報道によれば「交際費天国をお健在、史上最高年間3兆6千200億円」と出ている。交際費と

いえば「接待、つけ届け」、「料亭、飲み食い」という言葉が連想され国民の関心度が高い。間違いないと思うが、当町の町長交際費の実態は、

五、自治労富山県本部の資料によると入善町の一般行政職(事務、保母等)は県下35市町村のうち56年の13位が60年に17位、現業職(調理師、助手)にあつては18位が23位に低下している。職員の間では前町長時代が良かったという声も聞かれる中で、このダウンした原因は、

六、民間企業の厳しさを肌で知るといふことで職員研修されていたことは町民の好感を呼んでいたが、今後どの様に対処されるのか。

七、過日、議員全員協議会において、職員集会で5分間時間内に食い込んだ問題で議論があつた。争議行為は厳しく指導すべきだが、結果だけ見るのではなしに問題の過程を重視し真の労使信頼、協調路線を強めるべきでないか。

町長 何を期待しているかはその立場によつて変わる。先般10地区において開催した町政懇談会では道路河川の改修あるいは除雪など幅広い要望があつた。行政が何をやっていかねばならないかは「活力と

うるおいにみちた文化の町入善」の町の将来像につきると考える。特に経済の安定成長時代を迎えて物から心へと精神的なものに変わってきているので文化面に力を入れていきたいが、今度の選挙に於いて4年間の実績が町民の理解を得たと受け止めている。

一、自治省の発表では全国3千300市町村の中で、党籍をなのつていない方が8%おられる。過去4年の経験から非常に不利だったことはなく、またありえないと考えている。

二、議会との両輪については、執行部と議会がそれぞれ法律で定められた権限を持っており、お互いに立場を尊重し討議して行くべきだ。しかし指摘の点について事前



大雪でも安心(中町商店街)

説明が足りなかったと思つているので、今後そのようなことのないようにしていきたい。

三、県議定数は、県内における過疎、過密の問題を根本的に解決をするということからすれば、但し書き方式の採用は継続すべきである。近日中に下新川3町の町長で今後の対応を協議したい。

四、交際費は行政執行上、当該団体の利益のため当該団体を代表し外部との交渉をする等のために要する経費であつて個人経費でない、どの程度計上するかは市町村規模

にもよるが、人口1千500人の利賀村が70万円、人口1千人の上平村が50万円からして当町の60万円は決して高くない。支出内容は陳情経費もあるが、町民各種団体への志やカップ、トロフィー代も多くある。

五、職員の平均給与は男女比率や年齢層、学歴によつて違いが生じる。県下市町村の中には一斉に昇給期間を3ヶ月なり6ヶ月昇給期間を短縮しているところもあるようだが一斉の昇給短縮は違法なことであり県が厳しく指導している。

六、職員の企業派遣は議会の評判が悪かつた。しかし私はよかつたと考えており機会を見て復活させたい。

七、職員がストライキをすることは問題がある。大切なことは町民の付託に応じて行政を執行することであり、正常な労使関係を保持するよう職員組合と話し合つて行きたい。

参考までに

オラスパイルズ指数

ドイツ人のラスパイルズによつて創始された統計処理上の方法であり本来、総合物価指数の算定に用いられたものであるが、県、市町村職員の総合的な給与水準比較に用いられています。この算式に当つては学歴別、経歴年数別の職員数及び平均給料月額を基礎として算出します。

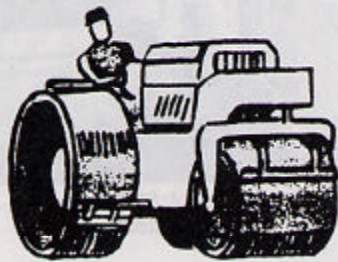
この比較をなぜ行なうかは国家公務員の給与水準は、全国の民間賃金の平均的な給与水準に保たれており、国家公務員の給与水準との比較により、地方公務員が国を上廻っていないか、あるいは間接的に民間賃金と比較するため用いられています。



常任委員会・審査のあらまし

産業建設

委員長 板川清治



意見

一、産業展示館に対する建設補助あるいは離岸堤災害復旧費において大幅な国庫補助金が減額になったことは残念なことだ。今後の対応方法に工夫を持って臨まれたい。

一、横山、上原地区について丹見地区が農村基盤総合整備事業の計画地域となったが、国の採択に向けて最大限努力されたい。また次の施工所についても計画して行

文教厚生

委員長 五十里隆章



意見

一、可、不燃物収集委託については好ましくぬを耳にするので、委託業者の監督指導には遺憾ないようお願いする。なお委託業務について今後競争入札も検討して見る必要もある。

一、国民健康保険会計で行なっている日帰り人間ドック事業は施策として当を得ているが、受診者の半数以上は他保険者である実態を見るに繰り入れするなり一般会計で措置すべきものと判断される。

総務

委員長 松沢孝衛



意見

一、今回、補正で国庫補助金は漁港施設災害復旧費と産業展示館建設費などが大幅に削減となったことは残念である。厳しい国の財政下において止むを得ない面もあるが、町長の努力方をお願いする。

一、働く婦人の家200万円、産業展示館1千300万円の補助減額分の財

源を町債に求めている。今後の都市計画事業や学校建設財源を考える時、安易に町債に頼るべきではない。

一、師走寒波は富山気象台が昭和14年に開設されて以来の豪雪となった。今、町で地域ぐるみ除排雪するため小型除雪機4台を地区配置したが、大年度以降も要望があ

れば対応されたい。

一、板屋より下黒部橋までの堤防上を町道として舗装しているが、安全対策には十分配慮されたい。

一、小型動力ポンプ車購入補助金(31万円)が国の少額補助金カットの影響を受け削減となった。しかし、この更新には後退のないよう予算対応して行くべきである。

一、上青小学校プール新設についての請願は、現在利用している旧上原小のプール位置は70mと離れており、時間のロスや緊急連絡出来ない弊害があり早期対応されたい。

一、公衆浴場業者から出された衛生設備改善に対する補助金交付依頼は補助制度の見直し等叫ばれている今日、問題はないではないが隣町の事態等判断の上考慮されたい。

一、広域圏内で援護施設に入所さ

望むものは53名おられることからして、新川むつみ園増築について育成会から陳情が出された。人間らしい生活と生きがいある日々を送るうえにおいて放置出来る問題ではないので、広域圏内で十分協議されたい。

一、軍人軍属恩欠者の活動費助成に関する陳情については、県下共通した問題であり各町の対応など見る必要上継続審査とする。

くべきである。

一、道路等生活環境に関する請願は過去の請願や陳情の未処理と合わせ町財政の許す範囲で計画的、積極的に取り組まされたい。

一、養豚経営維持資金の利子負担の軽減に関する請願は異論もあるが、日本の農政上の問題だけでは解決し得ない難しい局面にきている状況等踏まえ、農協なども力を合わせ経営の安定方策に努力されたい。

一、農業用水の河川流水占用料徴収反対に関する請願、陳情について、これは農業団体に於いて反対の声が上がるのは当然だ。しかし先日テレビ報道では、国は農業用水からの占用料を徴収することは見送るとしていることや、県町村議連合では県下統一行動するよう指示されていることなど鑑みて、入善町のみ先走りして国に意見書を提出すべきでない。



急ピッチに進む町民会館
(回廊部分)

第2回臨時議会

あらまし

11月13日に開催し入善町民会館外構
工事ほか1件について審査し、可決した。

※工事請負契約について

町民会館の建築本体工事は3月中の完成を目ざして進められて
いるが、今回5千万円で外構を整備することにした。

主な整備内容

広場 カラー化粧板を1千500㎡
敷設
噴水池 約90㎡ 1ヶ所
シンボル立柱 9本
植樹用の化粧コンクリート升
12ヶ所

※団体営林道

六谷線開設工事の請負
契約の一部変更

開設延長10メートルを増工し、
土木数量を変更した。
契約金額 「3千4百25万円」
を「3千5百54万円」
に変更

第4回臨時議会

あらまし

12月25日に開催し議案6件を原案の
とおり可決した。

主な内容

※60年度一般会計
補正予算(第4号)

4千236万円を追加し予算総額を
77億7千23万7千円とした。主な
歳出は町民会館展示美術品購入費
として1千万円(米沢四郎氏寄付
による)と人事院勧告に伴う職員
給与改善費

※工事

請負契約

- 一、庁舎分室新築工事
庁用自動車や文書保管するた
め庁舎西側に鉄骨造、二階建、
延床面積700㎡を5千700万円(建
築主体工事のみ)で建設するこ
とにした。
- 二、入善漁港改修工事第4工区
港内の静穏度を確保するため、
東防波堤の内側に12トンブロッ
ク205個据え付け工事を発注する
ことにした。
工事費 2千600万円



消波ブロック(入善漁港)

編集後記



◆師走寒波、さらに正月寒波到来
と本年も厳しい寒さの中で華あけ
をいたしました。しかし、きのう
今日の日の光、雪の消え間からの
ぞく黒い土は、春遠からじの感も
いたします。

◆財政赤字、教育の荒廃、急激な
高齢化、国際間の経済摩擦など深
刻な問題をいろいろ抱えた我が国
は、今、地方財政もさらに多難な
時代を迎え、益々締めつけが厳し
くなってきています。

◆「地方の時代」と呼ばれ久しい
が、この時代にふさわしい方向、
より好ましい地方自治運営に向け
て、今こそあらゆる面において総
点検をし地域の活性化、町づくり
に向け方向を見出し出していかなば
なりません。

◆まもなく3月予算議会が始まり
ます。町民ニーズの実現に向けて
執行当局に大いに提言し努力して
まいりたいと思えます。

議会だより編集委員

- 大林 政雄 板川 清治
- 西尾 三郎 岡島松次郎
- 松沢 孝衛 広瀬 義孝
- 五十里陸章 竹内 社太